

あなんの



本市は、阿南工業高等専門学校との連携協力のもと生物の多様性および持続可能な利用に関する基本的な計画である「生物多様性あなん戦略」を策定しました。本戦略は、阿南の持つ豊かな生物多様性を計画的かつ適切に保全し、その持続的な利用によって本市の活性化を図ることを目的としています。策定に携わった阿南高专准教授の大田直友さんに本戦略の狙いなどについてお話を伺いました。また、保全活用を進めている市内6カ所のホットスポットをご紹介します。



①蒲生田岬上空から阿南市を望む ②チュウビ (写真提供: 宮本 勇さん) ③伊島のササユリ (同: 川西藤彦さん) ④アナンムシオイ (同: 河野 光さん) ⑤オヤニラミ (同: 徳島県立博物館)

「ごじつつい自然」で まちを元気に!

生物多様性あなん戦略

生物がつながり合って
豊かな自然を作っている

生物多様性とは、具体的にどのようなことをいいますか。

大田 生物多様性には、3つの多様性があります。まずは遺伝子の多様性。アサリの模様が一つ一つ異なるのは同じ種類でも遺伝子が異なるからです。人間もホモ・サピエンスという同じ種ですが、遺伝子は微妙に異なり、顔や体つきが違います。2つめの多様性は種の多様性。地球上のすべての生物は、数千万種ともいわれます。皆さんも、動物園や水族館で多様な生きものに感動したことがあるはずです。最後は、生態系の多様性。阿南市にも、川、山、里地里山、海、池など、さまざまな生態系があり、それぞれに適応した多様

自然を守るだけでなく
賢く活用する

四国自治体初となる生物多様性あなん戦略の狙いを教えてください。

大田 本戦略は、生物多様性基本法に基づき、阿南市の生物の多様性および持続可能な利用に関する基本的な計画です。計画期間は2019年11月から2030年度までです。

本戦略は、阿南市の豊かな生物多様性を計画的かつ適切に保全し、その持続的な利用によって本市の活性化を図ることを目的としています。「多様な生きものとの暮らしが響き合って持続可能性の基盤となり、豊かな産業の下で心地よい暮らしを実現できるまち」を基本理念とし、5つの戦略(自然を守る・再生する、自然を賢く使う、ひとをつくる、まちをつくる、協働する)を達成するため25の施策を展開します。

ホットスポットをはじめとした貴重な自然の保全と再生、生物多様性に配慮したまちづくり、経済活性化、次世代の担い手の育成などの取組の推進を図っていきます。

本戦略の推進には、市民、市民団体、事業者、教育・研究機関、阿南市など、多様な主体による協働が必要不可欠です。「生物多様性あなん戦略推進協議会」を発足し、推進の核を担います。

な生物が住んでいます。

これら3つの異なるスケールでそれぞれたくさん生きものがいる。それらがつながり合って豊かな自然を作っているという、「自然の豊かさ」を示すのが「生物多様性」です。

オンリーワンの心地よい暮らしが実現

生物の多様性と私たちの生活がどのように関わってくるのですか。

大田 私たちの住む社会は、多様な生物との共存が社会や経済の基盤となっています。阿南市民の暮らしを支える豊かな産業力に、持続可能な自然環境が加わることで、物資・心身ともにまさに豊かな阿南市が形成され、オンリーワンの心地よい暮らしが実現されると考えています。



大田 直友 さん
阿南工業高等専門学校
創造技術工学科 准教授

生きもののもち阿南を
めよこつ

豊かな自然をまちづくりにどのように活かしていけばよいですか。

大田 市内に6カ所のホットスポットを選定しています。阿南市の豊かな自然を「見える化」し、この豊かな自然を積極的に守ってもらうためです。それと同時に、生物の魅力や自然の素晴らしさをまちづくりに活用し、阿南市の活性化を図るといって、「持続的な利用」も念頭にあります。

選定されたホットスポットでは、市民の方々が継続的に保護活動をされており、今後は6カ所のホットスポット同士のつながりや一体感を深め、「生きもののもち阿南」をPRしていけばよいと思います。

本戦略は、市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



野尾辺湿原

伊島

伊島では、里山利用の名残であるササユリを保護するため、伊島中学校を中心とした島の人たちなどによって、生育環境を守るための下草刈りなどが長期間行われています。その活動や伊島全体の多様な自然環境が評価され、「生物多様性保全上重要な里地里山（環境省）」に選定されています。

太龍寺近辺

新種と確認されたカタツムリ「アナナムシオイ」など希少種や固有種を育む自然が豊かな地域です。また、太龍寺道（四国遍路道）や四国霊場第21番札所太龍寺などの文化を育んでいます。若杉山には国史跡に指定された若杉山辰砂採掘遺跡が広がっています。



太龍寺道（四国遍路道）

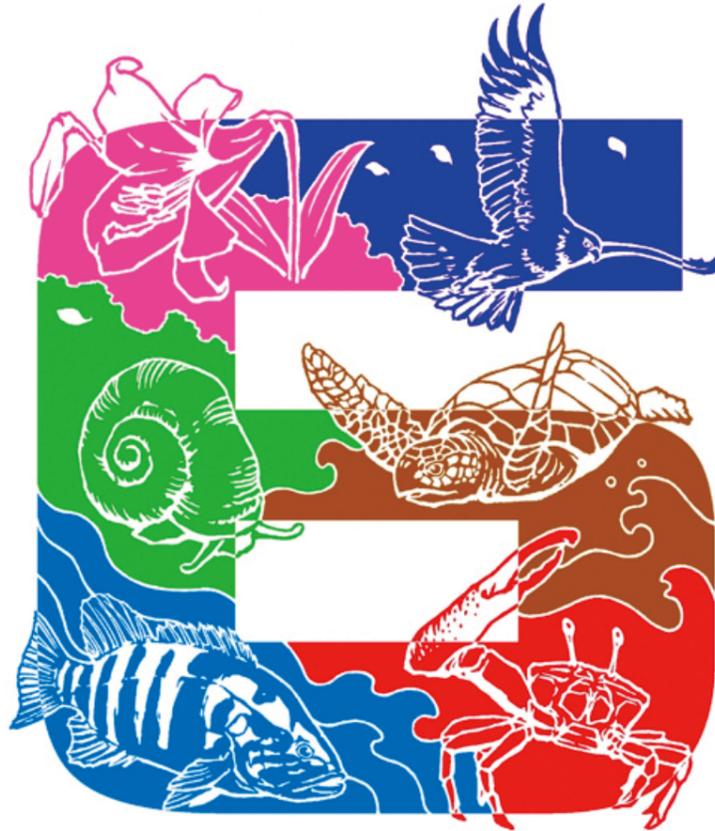


桑野川上流（新野町）

桑野川上流

新野町など桑野川上流域に生息する魚オヤニラミは、徳島県の天然記念物に指定されており、長期にわたり地域の人々に見守られています。希少種を育む豊かな自然環境は、同時に四国霊場第22番札所平等寺などの文化を育む環境でもあり貴重な場所です。

ANAN BIODIVERSITY HOTSPOTS



生物多様性ホットスポットのロゴマーク

選定された地域（6カ所）とそのシンボリック生物をモチーフにデザインしています。（デザイン：小部 博正さん）

出島野鳥園

出島野鳥園は、那賀川町出島地区にある野鳥の楽園。季節ごとに訪れるチュウヒなど野鳥を年間80種以上観察することができます。ここは野鳥にとって、餌を取ったり、羽を休めたりできる大切な場所です。また、園内に広がる塩性湿地は、湿生植物や昆虫が住む場所として県内でも貴重です。



出島野鳥園全景



大池

蒲生田

椿町の蒲生田は、四国で最も東の端にあります。蒲生田岬は、室戸阿南海岸国定公園を代表する岬。海浜はアカウミガメの重要な産卵場所であり、「日本の重要湿地500（環境省）」に選定されている大池の水生植物群落として貴重な場所です。

那賀川・桑野川河口域

河口の風景は、阿南市の豊かな自然の象徴です。シンボルであるシオマネキは、吉野川や勝浦川に並び、県を代表するほど数多く生息しています。その他、汽水に住むさまざまな希少種が確認されています。また、河口域は稚魚にとってゆりかご的な存在となっています。



桑野川（左）、那賀川（右）河口

第7回阿南市生物多様性フォーラム 「みんなで盛り上げよう！`生物多様性あなん戦略、」

日時 2月8日(土) 13:00~16:00 (受付開始12:30) ※入場無料・申込不要
場所 ひまわり会館2階 ふれあいホール
内容 【第1部】生物多様性あなん戦略の概要、ホットスポット行動計画
【第2部】基調講演 演題「福津市環境基本計画の推進と課題（仮）」
講師 九州工業大学建設社会工学科教授 伊東啓太郎さん
問い合わせは 環境保全課（☎22-3413）へ



広報あなん動画版 「あなんの`ごっつい自然、でまちを元気に！」

市政について広報番組を制作し、ケーブルテレビ11ch（ケーブルテレビあなん、県南てれび）やYouTubeで放映しています。1月から、「あなんの`ごっつい自然、でまちを元気に！」を放映します。阿南高専准教授の大田直友さんが生物多様性について分かりやすく解説。また、市内6カ所のホットスポットを美しい映像でご紹介します。ぜひ、ご覧ください。
問い合わせは 秘書広報課（☎22-1110）へ

